

# ご協力のお願い！！

## 被災地からガレキ・・・苫小牧が放射能で汚染される可能性が！

東日本大震災で発生したガレキの撤去作業の迅速化をはかるために、北海道苫小牧市にある臨海工業地帯に膨大な震災廃棄物を移送処分するよう検討されています。日本の食の安全、北海道の美しい環境の保全、そして子どもたちの未来のためにどうか北海道苫小牧市におけるガレキ仮置場の設立反対にご協力をお願いします。

## 汚染されていない被災地のガレキがあると思いますか？

放射性物質の累積降下量 (4/19~5/7) 単位~MBq/km<sup>2</sup>

	ヨウ素 131	セシウム 137	セシウム 134
北海道 (札幌市)	2.6	2.3	0
岩手県 (盛岡市)	8216.3	832.1	118.2
福島県 (福島市)	24151.3	2800.0	400.7

文科省発表の放射性物質の累積降下量 (左表参照) によると岩手県・福島県は北海道の**数百倍~数万倍**となっています。(宮城県では計測すらされていません) 今現在も福島第一原発より放射性物質が常に放出され続けています。

- ・放射性物質は完全に消えるまで、長いものでは3世紀(300年)もかかります。
- ・通常の廃棄物同様の処理がなされると土地・河川および地下水の汚染の可能性が考えられます。
- ・処理作業中に放射性物質が飛散し近隣住民及び作業員は被ばくする可能性があります。

**ガレキは現地で適切に処理されることが日本全体の汚染を最小限に食い止める方法です**

## 北海道へガレキが運ばれてきたら・・・

北海道の自然豊かでクリーンなイメージが崩壊

観光客が激減し観光業界に打撃  
道産品が売れなくなり農業・酪農にも大きな影響  
それにともない北海道全体の経済が下降する  
被災地の支援すらできなくなってしまいます



## 子どもは放射能の影響を受けやすい

住民への健康被害はもちろん、  
子ども達~赤ちゃん・胎児への影響ははかりしれません。  
子ども達の未来のために美しい苫小牧の大地を守りましょう！

## 今できること～行政へ私達の声を届けましょう！

苫小牧市役所 市民生活部 市民生活課

**0144-32-6303**

被災地のガレキを受け入れないように伝えて下さい！

ここに  
TEL!